持続可能な社会を

高岡 有村女性担当相が講演

有村治子女性活躍担当相は11日、県高岡文化ホールで講演し、安倍内閣が掲げる政策「女性の活躍」を紹介しながら、持続可能な社会づくりに取り組む考えを示した。

高岡市ファミリー・サポート・センターを運営するたかおか女性アカデミー（辻やす子代表理事）が、同センター開設10周年記念で招いた。

有村氏は、増田寛也元総務相らが発表した「消滅可能性都市」のリポートに触れ「20代、30代の女性がその地で家庭を築き、次世代につなげるために、魅力あるまちづくりができるかが富山や日本の存亡に関わる」と強調した。

「女性の活躍」政策の背景として労働人口減少を挙げ「働きたい人が働き、仕事と家庭を両立できるよう応援することが持続可能性につながる」とした上で、女性の就業率が高い富山について「学ぶべきものがある」と述べた。

講演に先立ち辻代表理事があいさつ。橘慶一郎衆院議員、林高岡市副市長、酒井立志同市議会議長が祝辞を述べた。

地域の婚活支援拡大

有村氏 南砺の活動評価

「なんとおせっ会」名誉会員証を手に、笑みをこぼす有村女性活躍担当相（中央）＝南砺市山見

有村女性活躍担当相は同日、官民連携の婚活支援が進む南砺市に立ち寄り、地域の仲人役でつくる「なんとおせっ会」メンバーと懇談した。地域の人脈やネットワークを活用した支援態勢を高く評価し、同様の取り組みを全国へ拡大したい考えを示した。

婚活支援係を含む「南砺で暮らしません課」がある井波コミュニティプラザ・アスモで、「おせっ会」メンバー8人や、メンバーの仲立ちで結婚したカップル2組と意見を交わした。メンバーの励ましから告白に至った経緯などを聞き、有村氏は「人生の先輩としての力量」と、貢献ぶりを評価。「おせっ会のいいところを全国に広げたい」と述べ、同様の取り組みの拡大を目指す考えを示した。

出産増加に向けて「安全な妊娠、出産のリミット（年齢）があるという現実を、中学、高校段階から知らせていかなければならない」とした。